

株式会社チノー 調節計
LT830 シリーズ
LT83010000-20A

サンプル画面説明書

サンプルのご利用について

サンプル用の画面データ、取扱説明書などのファイルは、以下の各項に同意の上でご利用いただくものとします。

- (1) 当社製品をご使用中またはご使用検討中のお客様がご利用の対象となります。
- (2) 当社が提供するファイルの知的財産権は、当社に帰属するものとします。
- (3) 当社が提供するファイルは、改竄、転載、譲渡、販売を禁止します。
但し、内容の一部または全てをお客様作成の機器やシステム内の当社製品上でご利用いただく場合は、その限りではありません。また、当社製品をご利用いただいたお客様作成の仕様書、設計書、組み込み製品の取扱説明書などへの転載、複製、引用、レイアウトの変更についてもその限りではありません。
- (4) 当社が提供するファイルやそのファイルから抽出されるデータを利用することによって生じた如何なる損害も当社は補償をいたしません。お客様の責任においてご利用ください。
- (5) 当社が提供するファイルに利用条件などが添付されている場合は、その条件にも従ってください。
- (6) 予告なしに当社が提供するファイルの削除や内容の変更を行うことがあります。
- (7) 当社が提供するファイルのご使用に際しては、対応するマニュアルおよびマニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って正しい取扱いをしてください。

目次

改訂履歴.....	4
1. 概要.....	5
2. システム構成.....	5
3. GOT について.....	5
3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション.....	5
3.2 作画ソフトウェアの接続機器設定.....	5
3.3 作画ソフトウェアのオーバーラップウィンドウ設定.....	5
4. デジタル指示調節計について.....	6
4.1 デジタル指示調節計の通信設定.....	6
4.2 デジタル指示調節計のパラメータ設定.....	6
5. 画面仕様.....	7
5.1 表示言語.....	7
5.2 画面遷移.....	7
5.3 画面説明.....	9
5.3.1 メニュー (B-30001)	9
5.3.2 モニタ (B-30002)	10
5.3.3 パラメータ (B-30003)	12
5.3.4 アラーム (B-30004)	13
5.3.5 マニュアル表示 (B-30500)	14
5.3.6 アラームリセット (W-30001)	16
5.3.7 言語設定 (W-30002)	17
5.3.8 時計設定 (W-30003)	18
5.4 使用デバイスを一覧.....	19
5.5 コメントを一覧.....	20
5.6 スクリプトを一覧.....	20
6. マニュアル表示について.....	24
6.1 マニュアル表示用ドキュメントデータの準備.....	24

改訂履歴

サンプル画面説明書

改訂日付	管理番号*	改訂内容
2013/9	BCN-P5999-0089	初版
2015/6	BCN-P5999-0089-2	ドキュメント ID のデバイス指定対応

* 管理番号は、右下に記載しています。

プロジェクトデータ

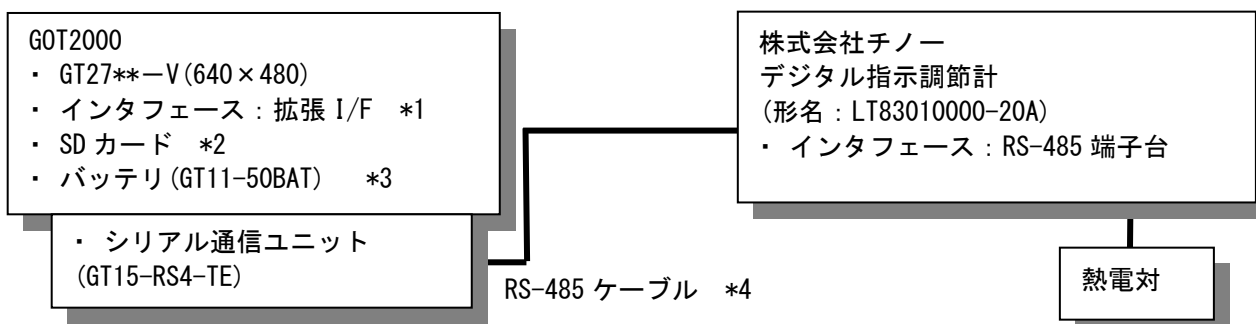
改訂日付	プロジェクトデータ	GT Designer3*	改訂内容
2013/9	CHINO_LT830_V_Ver1_J. GTX	1. 100E	初版
2015/6	CHINO_LT830_V_Ver2_J. GTX	1. 128J	ドキュメント ID のデバイス指定対応

* プロジェクトデータ作成時に使用した作画ソフトウェアのバージョンです。記載したバージョンと同等、またはそれ以降のバージョンの作画ソフトウェアを使用してください。

1. 概要

GOT2000 と株式会社チノー デジタル指示調節計 (LT83010000-20A) をシリアル (RS-485) で接続し、SV 値の変更、PV 値モニタ、MV 値モニタなどを行うサンプル画面の説明書です。

2. システム構成



*1: 標準 I/F の RS-422/RS-485 を使用して接続することも可能です。

*2: SD カードは、ロギング機能・ドキュメント表示機能で使用しています。

*3: バッテリーは、時計データおよび SRAM ユーザ領域のロギングデータ・ユーザアラームデータの停電保持に使用しています。(バッテリーは GOT 本体に標準装備しています。)

*4: ケーブルの詳細については、「GOT2000 シリーズ接続マニュアル (他社機器接続編1)」を参照してください。

3. GOT について

3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション

種類	システムアプリケーションの名称		
基本機能	基本システムアプリケーション		
	標準フォント		日本語
通信ドライバ	チノー調節計 (MODBUS)		
拡張機能	標準フォント		中国語 (簡体)
	アウトラインフォント	ゴシック	英数かな
			日本語漢字
			中国 (簡体) 漢字
	ドキュメント表示		

3.2 作画ソフトウェアの接続機器設定

項目	設定値	備考
ボーレート (BPS)	19200 bps	
データ長	8 bit	
ストップビット	1 bit	
パリティ	無	
リトライ回数 (回)	3	
通信タイムアウト時間 (秒)	1	
自局アドレス	1	デジタル指示調節計の機器番号を設定します。
送信ディレイ時間 (ms)	5	
形式	1	

3.3 作画ソフトウェアのオーバーラップウィンドウ設定

ベース画面の切り換え時にウィンドウ画面を閉じるために、[画面切り換え/ウィンドウ] のオーバーラップウィンドウの [詳細設定] で [ベース画面の切り換えと同時にウィンドウを閉じる] を有効にしています。

4. デジタル指示調節計について

4.1 デジタル指示調節計の通信設定

項 目	設定値	備 考
プロトコル	rtU	
通信機能	CoM	パソコンと通信するときに設定するモードです。
機器番号	1	
伝送速度	19.2K	19200bps
ストップビット	1 bit	固定値のため変更できません。
キャラクタ	8n1	ビット長：8bit
		パリティ：なし
		ストップビット：1bit
リモート/ローカル	LoCL	
デジタル伝送	PV	
リモートシフト	0.0	

4.2 デジタル指示調節計のパラメータ設定

弊社で動作確認した際の設定値は下記となります。

項 目	設定値	備 考
入力範囲	L1	設定範囲：-200℃～1370℃
リニア小数点	0	0 固定です。
設定値 (SV)	28	このサンプルでは 28 に設定しています。
EV1 モード	AH	このサンプルでは絶対値上限待機無に設定しています。
EV1 設定	33	このサンプルでは 33 に設定しています。
EV2 モード	AL	このサンプルでは絶対値下限待機無に設定しています。
EV2 設定	26	このサンプルでは 26 に設定しています。
キーロック	3	このサンプルでは 3 に設定しています。
その他	-	初期値です。

5. 画面仕様

5.1 表示言語

画面上に表示する文字列は、日本語・英語・中国語(簡体)の3言語で切り換え表示できます。各言語の文字列は、コメントグループ No. 499、500 の列 No. 1~3 に下記のように登録しています。言語切り換えデバイスに列 No. を格納すると列 No. に対応した言語を表示します。

列 No.	言語
1	日本語
2	英語
3	中国語(簡体)

5.2 画面遷移

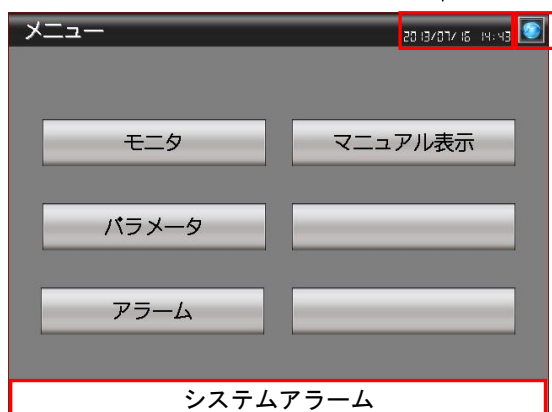
5.2.1 画面一覧・遷移(共通)



ウィンドウ画面 W-30003 : 時計設定



ウィンドウ画面 W-30002 : 言語設定



ベース画面 B-30001 : メニュー他全ベース画面



ウィンドウ画面 W-30001 : アラームリセット

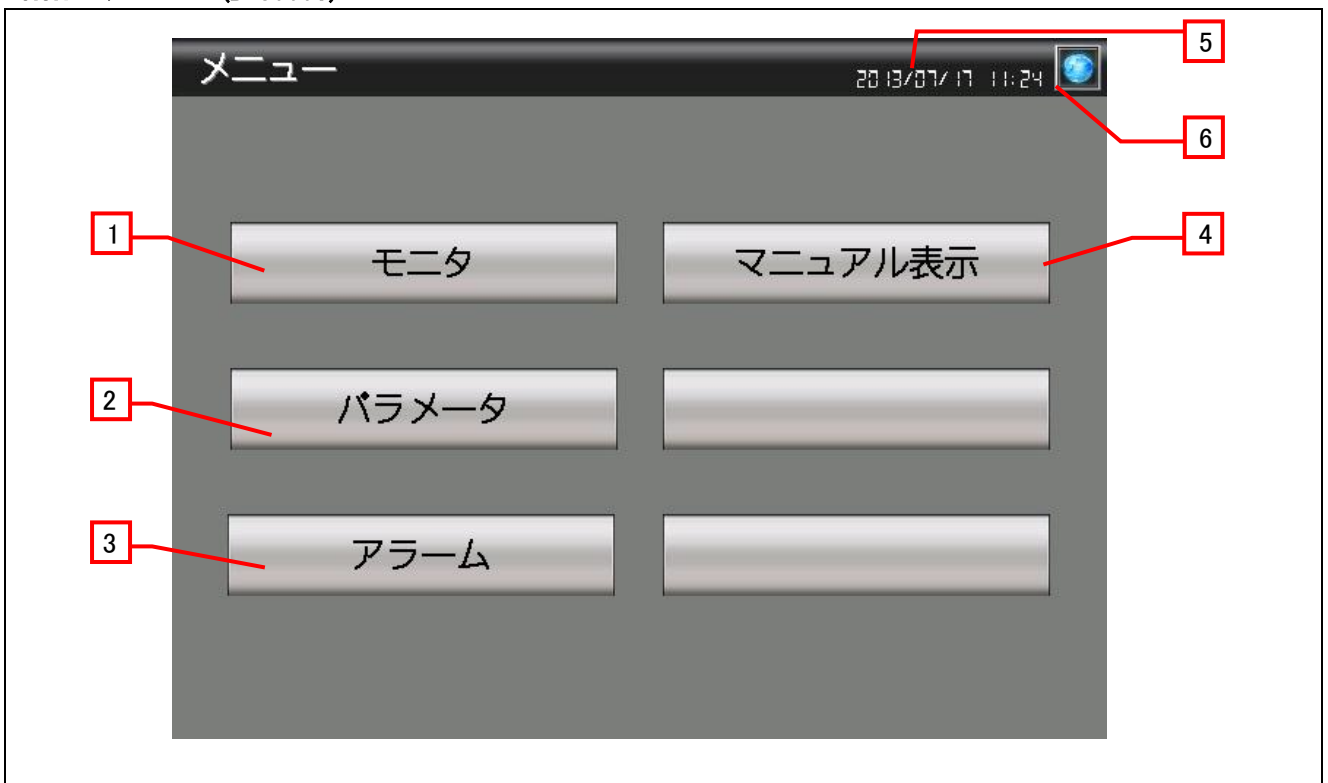
The diagram illustrates the navigation structure of the B-30000 series interface. A central vertical line with arrows indicates the flow between five main screens:

- ベース画面 B-30001 : メニュー (Base Screen B-30001 : Menu)**: The central hub screen. It contains four buttons: **モニタ** (Monitor), **マニュアル表示** (Manual Display), **パラメータ** (Parameters), and **アラーム** (Alarm).
- ベース画面 B-30002 : モニタ (Base Screen B-30002 : Monitor)**: Displays real-time data, including a waveform graph at the top and various status indicators like **カーンル制御** (Carnal Control) and **オートチューニング** (Auto Tuning).
- ベース画面 B-30003 : パラメータ (Base Screen B-30003 : Parameters)**: A table-based screen for configuring system parameters. Key parameters include:

項目 (Item)	値 (Value)
リニアリ数 (Linear Count)	12345
Ready制御出力 (Ready Control Output)	12.3 %
駆動電圧上界分配 (Drive Voltage Upper Limit Distribution)	12345 °C
駆動電圧下界分配 (Drive Voltage Lower Limit Distribution)	12.3 %
電圧リセット ON/OFF (Voltage Reset ON/OFF)	電圧リセット OFF
EVI設定 (EVI Setting)	12345 °C
UV設定 (UV Setting)	12345 °C
出力電圧 (Output Voltage)	12.3 °C
検出時間 (Detection Time)	12345 秒 (s)
検出時間 (Detection Time)	12345 秒 (s)
検出時間 (Detection Time)	12.3 %
上界出力ミット (Upper Limit Output Miss)	12.3 %
安全出力ミット (Safety Output Miss)	12.3 %
キーロック (Key Lock)	解除 (Released)
RunReady状態 (RunReady Status)	Run
- ベース画面 B-30004 : アラーム (Base Screen B-30004 : Alarm)**: A list-based screen for monitoring and managing alarms. It includes columns for **発生日時** (Occurrence Date/Time), **コメント** (Comment), **消灯** (Clear), and **消灯** (Clear). The list shows multiple entries with timestamps like 2009-9-11.
- ベース画面 B-30050 : マニュアル表示 (Base Screen B-30050 : Manual Display)**: Displays the **3.2 GET Designer 3.0 取扱説明書** (3.2 GET Designer 3.0 User Manual).

5.3 画面説明

5.3.1 メニュー (B-30001)



概要

メニュー画面です。

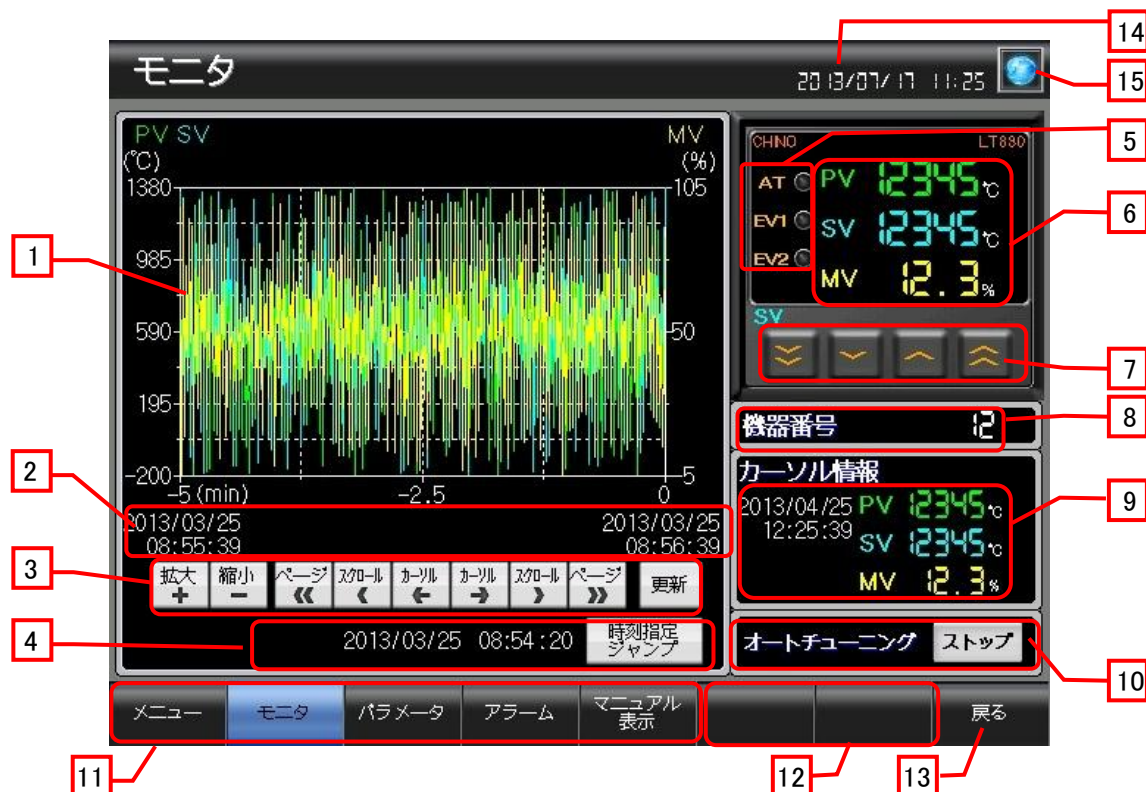
詳細

1. モニタ画面に切り換えます。
2. パラメータ画面に切り換えます。
3. アラーム画面に切り換えます。
4. マニュアル表示画面に切り換えます。
5. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
6. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにて機器番号を「1」に指定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.2 モニタ (B-30002)



概要

PV 値・SV 値・MV 値をグラフと数値で表示し、AT・EV1・EV2 をランプで表示します。SV 値、機器番号、オートチューニングの設定値を変更できます。

詳細

1. PV 値、SV 値、MV 値をヒストリカルトレンドグラフで表示します。PV 値は緑色、SV 値は水色、MV 値は黄色でグラフ線を表示します。グラフ上をタッチすると、カーソルを表示します。グラフ上をタッチした状態で左右にフリックすると表示内容が左右にスクロール表示します。また、水平方向にピンチアウト・ピンチインすると時間軸を基準にグラフを拡大・縮小表示します。
2. ヒストリカルトレンドグラフの表示開始位置時刻と表示終了位置時刻を表示します。
3. ヒストリカルトレンドグラフを操作します。
 - 拡大 : グラフの時間軸を新しいデータの軸を基準に、拡大 (2 倍) 表示します。
 - 縮小 : グラフの時間軸を新しいデータの軸を基準に、縮小 (1/2 倍) 表示します。
 - ページ<< : ページを左にスクロール表示します。
 - スクロール< : グラフを左にスクロール表示します。
 - カーソル< : カーソルを表示し、カーソルを古いデータの方方向にスクロール表示します。
 - カーソル> : カーソルを表示し、カーソルを新しいデータの方方向にスクロール表示します。
 - スクロール> : グラフを右にスクロール表示します。
 - ページ>> : ページを右にスクロール表示します。
 - 更新 : カーソルを消去し、最新のデータを表示します。
4. 日時を入力し、時刻指定ジャンプスイッチをタッチすると指定した日時をグラフの中央に表示します。画面初回表示時には日時に現在日時を格納します。
5. オートチューニング・イベント 1・イベント 2 の状態をランプ表示します。
6. PV 値・SV 値・MV 値の現在値を表示します。
7. 左から順に、-10、-1、+1、+10°C ずつ SV 値を変更します。
8. 機器番号を表示します。数値をタッチすると機器番号を変更できます。
9. カーソル位置の日時・PV 値・SV 値・MV 値を表示します。
10. オートチューニングをスタート/ストップするスイッチです。
11. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
12. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。

13. 前回表示していた画面に切り換えます。
14. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
15. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ 複数台のデジタル指示調節計をモニタする場合は、接続機器設定の自局アドレスで設定した局番のデジタル指示調節計が必ず存在するようにしてください。このサンプルでは、「1」を設定しています。自局アドレス設定の詳細については、「GOT2000 シリーズ接続マニュアル(他社機器接続編 1)」を参照してください。
- ・ ヒストリカルトレンドグラフの時刻指定ジャンプ用に画面スクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.3 パラメータ (B-30003)



概要

デジタル指示調節計のパラメータを設定します。

詳細

1. パラメータのデータ名を表示します。
2. パラメータ値を表示します。数値色が緑色のパラメータは設定値を変更可能です。
3. パラメータの操作スイッチです。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.4 アラーム (B-30004)



概要

デジタル指示調節計の警報を表示します。

詳細

- ユーザアラーム表示でアラームを表示します。タッチでカーソルを表示/非表示します。アラーム表示上をタッチした状態で上下にフリックするとアラームを上下にスクロール表示します。
- ユーザアラーム表示を操作します。
 - 削除 : 選択された復旧済みアラームを削除します。
 - 全削除 : 復旧済みアラームをすべて削除します。
 - 確認 : 選択アラームの日時表示(確認)をします。
 - 全確認 : 全アラームの日時表示(確認)をします。
 - ▲ ▼ : 上下にページスクロールします。
 - ▲ ▼ : 上下に1行ずつスクロールします。
- 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
- 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
- 前回表示していた画面に切り換えます。
- 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
- 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。






5.3.5 マニュアル表示 (B-30500)



概要

表示中の言語に対応したマニュアルを表示します。

詳細

1. マニュアル表示は、言語に応じてそれぞれドキュメント ID 201～203 のドキュメントを表示します。画面初回表示時は 1 ページ目を表示します。ドキュメント上をタッチした状態で 8 方向にフリックするとドキュメントを 8 方向にスクロール表示します。ドキュメントの端が表示されている状態でフリックすると、ページを切り換えます。ピンチアウト・ピンチインすると、大・中・小の 3 段階で、ドキュメントが切り換わります。
2. 表示しているドキュメントを操作します。
 : 表示しているドキュメントを拡大/縮小します。
 : 表示しているドキュメントを左右にスクロールします。
 : 表示しているドキュメントを上下にスクロールします。
3. 表示しているドキュメントのページを操作します。
 : 表示しているドキュメントのページ数を表示します。数値をタッチするとページ番号を変更できます。
 : 表示しているドキュメントをページ送り/ページ戻しします。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

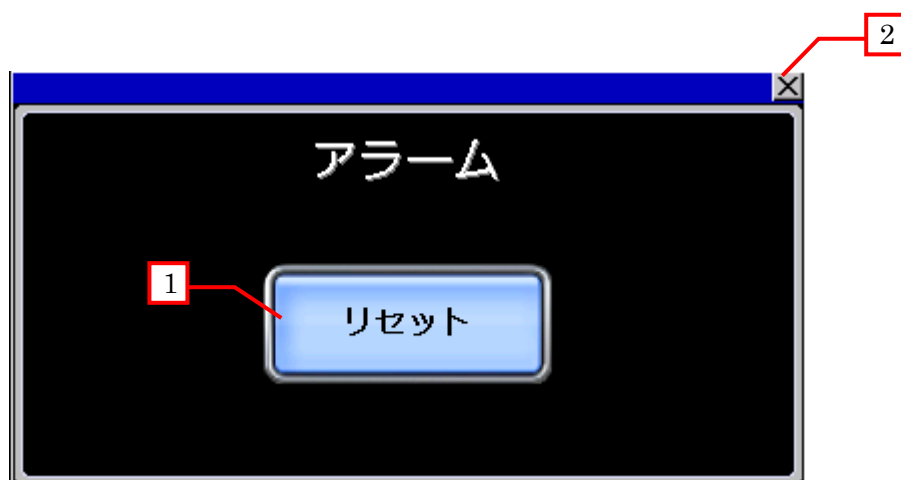
備考

- ・マニュアル表示のドキュメントは表示言語切り換えに追従します。コメントグループ列 No. と言語、ドキュメント ID は下表のように対応しています。

コメントグループ列 No.	言語	ドキュメント ID
1	日本語	201
2	英語	202
3	中国語(簡体)	203

- ・GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにてドキュメントページ No. に「1」、およびドキュメント ID に「201」を設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・ページ送りスイッチはオブジェクトスクリプトにて総ページ数を超えないようにしています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・マニュアル表示用のドキュメントデータは、お客様で作成してください。詳細については、「6. マニュアル表示について」を参照してください。
- ・システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.6 アラームリセット (W-30001)



概要

システムアラームをリセットします。

詳細

1. システムアラームをリセットし、1秒後にウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

5.3.7 言語設定 (W-30002)



概要

GOT で表示する言語を選択します。

詳細

1. 言語を切り換え、ウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 表示言語にあわせてシステム言語とマニュアル表示のドキュメント ID も切り換える設定をしています。





5.3.8 時計設定 (W-30003)



概要

GOT の時計データを変更します。

詳細

1. 現在の日時を表示します。
2. 変更したい日時を   スイッチで設定します。   スイッチは、長押しすると連続で増減します。リセットスイッチは、秒をリセットします。
3. 設定した日時を GOT の時計データに反映し、1 秒後にウィンドウ画面を閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 変更する日時の初期値は、ウィンドウ画面を表示した時の日時です。
- ・ 変更する日時の年・月・日・時・分・秒の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。

5.4 使用デバイス一覧

画面上のスイッチやランプなどに設定されている一部のデバイスは、スクリプトなどの共通設定にも設定されている場合があります。これらのデバイスを一括で変更する場合には[一括変更]の使用を推奨します。[一括変更]の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。

5.4.1 接続機器のデバイス

タイプ	デバイス番号	用途	リファレンス番号
ビット	00101	オートチューニング	00101
	30142. b0	イベント 1 の ON/OFF	30142
	30142. b4	イベント 2 の ON/OFF	30142
	40119. b0	勾配 PV スタート ON/OFF	40119
	49510. b0	Run/Ready 切換	49510
ワード	30101	測定値 (PV) (リードのみ)	30101
	30103	設定値 (SV) (リードのみ)	30103
	30105	制御出力値 (MV1) (リードのみ)	30105
	40008	リニア小数点	40008
	40114	Ready 時制御出力	40114
	40116	設定値上昇勾配	40116
	40117	設定値下降勾配	40117
	40201	設定値 (SV)	40201
	40202	イベント 1	40202
	40203	イベント 2	40203
	40206	比例帯 (P)	40206
	40207	積分時間 (I)	40207
	40208	微分時間 (D)	40208
	40209	下限出力リミッタ	40209
	40210	上限出力リミッタ	40210
	40211	変化量リミッタ	40211
	49501	キーロック	49501

5.4.2 GOT の内部デバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	GB40	スクリプトトリガ (常時 ON)
	GD60031. b13	GOT エラーリセット信号
	GS512. b0	時刻変更信号
ワード	GD10	機器番号の設定
	GD60000	ベース画面切り換え
	GD60001	オーバーラップウィンドウ 1 画面切り換え
	GD60004	オーバーラップウィンドウ 2 画面切り換え
	GD60021	言語切り換え
	GD60022	システム言語切り換え
	GD60031、GD60041	システム情報
	GD60080～GD60082	ドキュメント表示
	GD61201～GD61203	ヒストリカルトレンドグラフ グラフ情報
	GD61221～GD61224	ヒストリカルトレンドグラフ カーソル位置時刻
	GD61225～GD61228	ヒストリカルトレンドグラフ 表示開始位置時刻

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	GD61229～GD61232	ヒストリカルトレンドグラフ 表示終了位置時刻
	GD61233～GD61235	ヒストリカルトレンドグラフ 表示位置時刻指定
	GD63990～GD63995	時計のデジスイッチ
	GS513～GS516	変更時刻
	GS650～GS652	現在時刻
	TMP950～TMP996	スクリプト演算用

5.5 コメント一覧

コメントグループ No.	コメント No.	使用箇所
499	No. 1～2	B-30004 (ユーザアラーム監視 ID 30001)
500	No. 1～4	B-30001～30500
	No. 4	W-30001
	No. 5、6	B-30002～30500
	No. 7	B-30001、B-30500
	No. 21～47	B-30002
	No. 61～82	B-30003
	No. 111～117	B-30004
	No. 131～135	B-30002
	No. 134～136	B-30003
	No. 151	W-30001、W-30003
	No. 152	W-30002
	No. 153～160	W-30003

5.6 スクリプト一覧

項目	設定
プロジェクトスクリプト	有り
画面スクリプト	B-30002、B-30500
オブジェクトスクリプト	B-30500、W-30003

5.6.1 プロジェクトスクリプト

スクリプト No.	30001	スクリプト名	Script30001
コメント	初期設定		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB40
[w:GD10]=1; //機器番号を 1 に指定 [w:GD60080]=201; //ドキュメント ID に 201 を設定 [w:GD60081]=1; //ドキュメントページNo.に 1 を設定			

5.6.2 画面スクリプト

ベース画面 30002

スクリプト No.	30101	スクリプト名	Script30101
コメント	現在時刻取得		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB40
<pre>//画面表示時に年月日時分秒を格納 [w:GD61233]=[w:GS650]; [w:GD61234]=[w:GS651]; [w:GD61235]=[w:GS652];</pre>			

ウィンドウ画面 30500

スクリプト No.	30002	スクリプト名	Script30002
コメント	ドキュメント表示の最終ページの処理		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
<pre>//総ページ数が0でないことを確認 if([w:GD60082]!=0){ //現在ページ数が総ページ数を越えているか比較する if([w:GD60081]>[w:GD60082]){ //表示するページを最終ページに設定する [w:GD60081]=[w:GD60082]; } };</pre>			

5.6.3 オブジェクトスクリプト

ベース画面 30500

オブジェクト	スイッチ	オブジェクト ID *1	20031
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	デバイス書き込み時
<pre>//ページ数がドキュメントの総ページ数を越えないようにします。 if([u16:GD60081] >= [u16:GD60082]){ [u16:GD60081] = [u16:GD60082] - 1; }</pre>			

ウィンドウ画面 30003

オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID *1	10014
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	立上り GB40
<pre>//時計データより今日の年月を取得 [w:TMP950] = [w:GS650] & 0xF000;//設定用時計データより年の下2桁の10の位を取得 [w:TMP960] = [w:TMP950] >> 12;//桁合せ [w:TMP968] = [w:TMP960] * 10;//BCD->BIN [w:TMP951] = [w:GS650] & 0x0F00;//設定用時計データより年の下2桁の1の位を取得 [w:TMP961] = [w:TMP951] >> 8;//BCD->BIN [w:TMP973] = 2000 + [w:TMP968] + [w:TMP961];//TMP973に年をBINでセット [w:GD63990] = [w:TMP973];//年をセット [w:TMP952] = [w:GS650] & 0x00F0;//設定用時計データより月の10の位を取得 [w:TMP962] = [w:TMP952] >> 4;//桁合せ [w:TMP969] = [w:TMP962] * 10;//BCD->BIN [w:TMP953] = [w:GS650] & 0x000F;//設定用時計データより月の1の位を取得 [w:TMP974] = [w:TMP969] + [w:TMP953];//TMP974に月をBINでセット [w:GD63991] = [w:TMP974];//月をセット [w:TMP954] = [w:GS651] & 0xF000;//設定用時計データより日の下2桁の10の位を取得</pre>			

```

[w:TMP963] = [w:TMP954] >> 12; // 桁合せ
[w:TMP970] = [w:TMP963] * 10; // BCD→BIN
[w:TMP955] = [w:GS651] & 0x0F00; // 設定用時計データより日の下 2 桁の 1 の位を取得
[w:TMP964] = [w:TMP955] >> 8; // BCD→BIN
[w:TMP975] = [w:TMP970] + [w:TMP964]; // TMP975 に日を BIN でセット
[w:GD63992] = [w:TMP975]; // 日をセット

[w:TMP956] = [w:GS651] & 0x00F0; // 設定用時計データより時の 10 の位を取得
[w:TMP965] = [w:TMP956] >> 4; // 桁合せ
[w:TMP971] = [w:TMP965] * 10; // BCD→BIN
[w:TMP957] = [w:GS651] & 0x000F; // 設定用時計データより時の 1 の位を取得
[w:TMP976] = [w:TMP971] + [w:TMP957]; // TMP976 に時を BIN でセット
[w:GD63993] = [w:TMP976]; // 時をセット

[w:TMP958] = [w:GS652] & 0xF000; // 設定用時計データより分の下 2 桁の 10 の位を取得
[w:TMP966] = [w:TMP958] >> 12; // 桁合せ
[w:TMP972] = [w:TMP966] * 10; // BCD→BIN
[w:TMP959] = [w:GS652] & 0x0F00; // 設定用時計データより分の下 2 桁の 1 の位を取得
[w:TMP967] = [w:TMP959] >> 8; // BCD→BIN
[w:TMP977] = [w:TMP972] + [w:TMP967]; // TMP977 に分を BIN でセット
[w:GD63994] = [w:TMP977]; // 分をセット

[w:TMP993] = [w:GS652] & 0x00F0; // 設定用時計データより秒の 10 の位を取得
[w:TMP995] = [w:TMP993] >> 4; // 桁合せ
[w:TMP996] = [w:TMP995] * 10; // BCD→BIN
[w:TMP994] = [w:GS652] & 0x000F; // 設定用時計データより秒の 1 の位を取得
[w:TMP978] = [w:TMP996] + [w:TMP994]; // TMP978 に秒を BIN でセット
[w:GD63995] = [w:TMP978]; // 秒をセット

```

オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID *1	10015
スクリプトユーザ ID	2		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時

// BIN → BCD 変換

```

[w:TMP979] = [w:GD63990] - 2000; // 年の下 2 桁

[w:TMP980] = (([w:TMP979] / 10) << 4) + ([w:TMP979] % 10); // 年 BIN → BCD
[w:TMP981] = (([w:GD63991] / 10) << 4) + ([w:GD63991] % 10); // 月 BIN → BCD
[w:TMP982] = (([w:GD63992] / 10) << 4) + ([w:GD63992] % 10); // 日 BIN → BCD
[w:TMP983] = (([w:GD63993] / 10) << 4) + ([w:GD63993] % 10); // 時 BIN → BCD
[w:TMP984] = (([w:GD63994] / 10) << 4) + ([w:GD63994] % 10); // 分 BIN → BCD
[w:TMP985] = (([w:GD63995] / 10) << 4) + ([w:GD63995] % 10); // 秒 BIN → BCD

```

オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID *1	10016
スクリプトユーザ ID	3		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時

// 年月設定

```

[w:GS513] = ([w:TMP980] << 8) + [w:TMP981]; // 変更時刻デバイスに年月セット

```

オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID *1	10017
スクリプトユーザ ID	4		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時

// 日時設定

```

[w:GS514] = ([w:TMP982] << 8) + [w:TMP983]; // 変更時刻デバイスに日時セット

```

オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID *1	10018
スクリプトユーザ ID	5		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// 分秒設定			
[w:GS515] = ([w:TMP984] << 8) + [w:TMP985]; // 変更時刻デバイスに分秒セット			
オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID *1	10019
スクリプトユーザ ID	6		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// 曜日設定			
[w:TMP986] = [w:GD63990]; //年 (BIN)			
[w:TMP987] = [w:GD63991]; //月 (BIN)			
[w:TMP988] = [w:GD63992]; //日 (BIN)			
if((([w:TMP987] == 1) ([w:TMP987] == 2)) { //1・2 月の場合のみ前年の 13・14 月として計算するための補正処理			
[w:TMP986] = [w:TMP986] - 1; //年から 1 を減算			
[w:TMP987] = [w:TMP987] + 12; //月に 12 を加算			
}			
[w:TMP989] = [w:TMP986]/4; //ツェラーの公式に必要な項を作成			
[w:TMP990] = [w:TMP986]/100; //ツェラーの公式に必要な項を作成			
[w:TMP991] = [w:TMP986]/400; //ツェラーの公式に必要な項を作成			
[w:TMP992] = (13*[w:TMP987]+8)/5; //ツェラーの公式に必要な項を作成			
//ツェラーの公式で曜日算出して変更時刻デバイスに曜日をセット			
[w:GS516] = ([w:TMP986]+[w:TMP989]-[w:TMP990]+[w:TMP991]+[w:TMP992]+[w:TMP988])%7;			

*1 オブジェクト ID は画面流用時に変更される場合があります。

6. マニュアル表示について

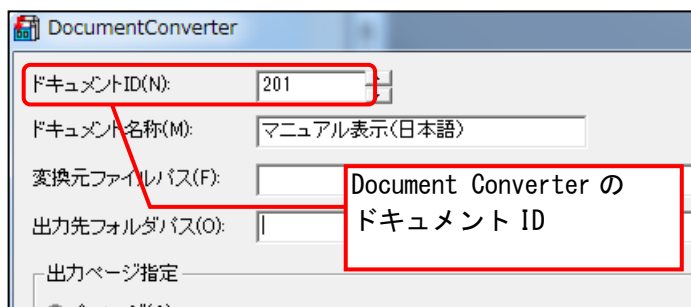
マニュアル表示は、ドキュメント表示機能を使用して表示しています。ドキュメント表示機能の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。ドキュメント表示機能は言語切り換えに非対応のため、サンプル画面では選択した表示言語にあわせてドキュメント ID を変更することで、ドキュメントの言語切り換えを実現しています。

6.1 マニュアル表示用ドキュメントデータの準備

例：ベース画面 B-30500：マニュアル表示に日本語のマニュアル(ドキュメント)を表示する場合

- (1) 表示するマニュアル(Word や Excel など)を Document Converter を使用してドキュメント表示機能用のドキュメントデータ (JPEG ファイル)に変換します。この際、Document Converter の[ドキュメント ID]に 201 を設定します。

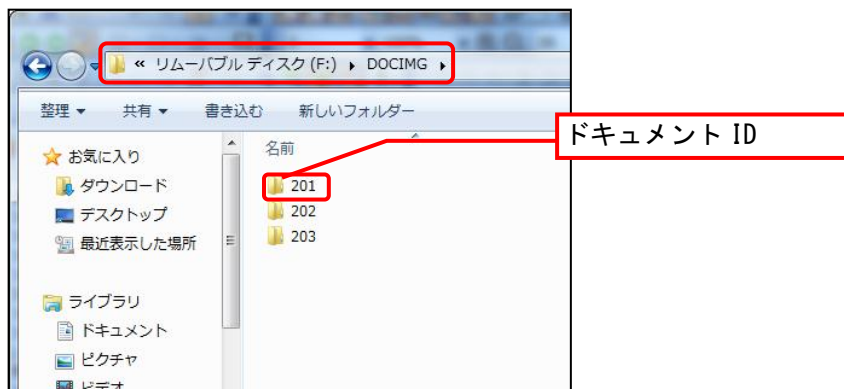
※ドキュメント ID と表示言語の対応は下記表を参照してください。



コメントグループ列 No.	言語	ドキュメント ID
1	日本語	201
2	英語	202
3	中国語(簡体)	203

※Document Converter は 2.09K 以降のバージョンを使用してください。2.08J 以前のバージョンでは総ページ数とページ切り換えスイッチが正しく動作しません。

- (2) ドキュメントデータは DOCIMG フォルダの 201 フォルダ内に生成されます。DOCIMG フォルダ以下のフォルダ構成は変更せずに、DOCIMG フォルダごと SD カードのルートディレクトリに保存してください。



SD カードのフォルダ構成

備考：総ページ数が 100 ページ以上の場合

本サンプルは総ページ数が 99 ページまでのドキュメントを想定しています。100 ページ以上の場合、総ページ数および現在表示中ページ番号の表示を行う数値表示の書式文字列(＃の数)を修正してください。